# 平成 26 年 9 月 14 日 主日礼拝

礼拝開始:午前 11 時　献堂 8 周年記念礼拝・洗礼式

---

司　　会 : 小木秀夫兄
奏　　楽 : 倉知 契牧師 ・ 米田 香姉
おいのり : 平松友子姉
さ ん び : 新聖歌 209「慈しみ深き」1. 2. 3 節(あなたは愛されるため)
主の祈り
聖　　書 : マタイによる福音書 11 章 28～30 節 (P.17)
(朗読:持田樹理姉)
音　　楽 : 西 由起子さん ・ 後藤真己さん

メッセージ :「あの時から、空が変わった」倉知 契牧師

花の詩画コンサート

賛美 と 献金 : 新聖歌 233「驚くばかりの」
洗 礼 式
頌　　栄 : ハレルヤ・アーメン（新聖歌233のまま）
祝　　禱
報　　告

---

【瀬戸ニュース】
◇ 皆様を心から歓迎いたします。西さん、後藤さんに感謝します。
◇ 昼食が200円で用意されています。豪華な手造りデザート付。
◇ 西由起子さんのCD、星野富弘さんの本・グッズをロビーで販売中。
◇ 日曜日の礼拝(ミサ)はどなたでも参加できます。歓迎します。
様々なイベントがこの秋も用意されています。お楽しみに！
◇ 10/19(日)三浦綾子さん「氷点」50周年記念の特別プログラム。
10/25(土)ジョイキッズ・子ども秋祭りは超たのしい催し沢山です。
◇ 受洗おめでとうございます。永原純子様。
◇ 祈祷会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈祷会11時15分
◇ 祝大Aコース Ⅰコリント15章～Ⅱコリント5章 Bコース 箴言11章～24章

◇次聖日礼拝奉仕者［平成26年9月21日］　［愛餐会］
[司会:片岡洋一兄、いのり:持田樹理姉、聖書朗読:加藤由美子姉]
[ピアノ/リード:米田 香姉　アシスト:大神美乃姉、武藤詩奈姉
[献金:持田樹理姉、平松友子姉　受付:赤塚孝子姉]
◇PA:平松章治兄、岡前順勝兄　◇週報編集:片岡洋一兄
◇ホームページ編集:大神真伸兄　◇日曜学校:片岡立子姉

あの時から、空が変わりました。私は、独りではなく、
空が、神様が見ていてくれると思うようになったのです。

星野富弘

## 土の器

今日は、８周年記念、ソプラノコンサートにようこそおいでくださいました。心から歓迎いたします。今回は、西由起子さんをお迎えしての感動のひとときです。

星野富弘さんの花の詩画は日本中で有名です。西さんはかつて、詩の中の「等身大の私の心に寄り添うような、人の心の弱さや不完全さを包み隠さない言葉たち」に感動して、「この詩を歌で伝えたい」という願いを持たれました。そして親友の なかにしあかねさんに作曲を委嘱し、「星野富弘の詩による歌曲集～二番目に言いたいこと」を初演。CDにもなりました。発売記念コンサートで星野富弘さんが来てくださり、「今日は詩と音楽の結婚式です」とお話をしてくださったそうです。

富弘さんは、著書「ありがとう、私のいのち」（学研）にこう書いています。

字を書きはじめてから四か月が過ぎて、なんとか念願の手紙が書けるようになり、生徒や姉や友達に手紙を書いた。一つの手紙に一週間もかかってしまうこともあったが、受け取った人たちは、私の想像を遥かにこえて大きく喜び、折り返し返事をくれた。なかには、額に入れて飾ったという友達もいた。長い時間書きつづけると熱が出たが、つらいと思わなかった。病院から一歩も出られない私だけれど、体力と精神のかぎりを尽して書いた文字は、文字というより、私の分身のような気がして、それが汽車に乗り、遠いところへ出かけて行くのだと思いながら書いた…。

書いた文字・描いた作品を「分身」と思って送り出し、ご自分も一緒に旅しているという発想は素敵ですね。今年「氷点」５０周年の三浦綾子さんもかつて、ご自分の作品を「我が子」のように思っていると書いていました。

ところで、８周年を迎える瀬戸カルバリーチャペルという「教会」は、建物のことではなく、そこに集まる私たち、お互いのこと。そして、これを建てられたお方は、教会をご自分の「分身」のように思ってくださって、「キリストのからだ」なる教会と呼ばれるようになりました。私たちは「我が子」として神様に愛されています。愛を込めてデザインされた最高傑作、尊い存在。そのことを感謝して、毎週この場所で礼拝（ミサ）をしています。クリスチャンでなくても参加できます。いつでもいらしてください。

「あなたは愛されるために生まれてきました！」これからもこのメッセージを届け続けます。今日はお忙しい中お越しくださって本当に有難うございました。

瀬戸カルバリーチャペル　倉知 契